

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)(有)プラスワン様 マンション	階数	地上10F
建設地	千葉県千葉市中央区千葉町5番2,4	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	49 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年6月1日
敷地面積	625 m ²	作成者	海老原 岩男
建築面積	354 m ²	確認日	2021年6月1日
延床面積	3,018 m ²	確認者	松本 圭介



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の建物の高さに合わせて計画し、連続した街並みに配慮した。	
その他		
Q1 室内環境	開口を大きめに設け自然光に確保を図っている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	劣化対策等級3を取得した計画とした。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	標準的な計画とした。	
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4とし省エネルギー性能の向上に努めている。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	標準的な計画とした。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	光害対策ガイドラインの過半を満たす計画とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される